

あきる野市議会
自由民主党～あきる野の未来に責任を持ち、
市民と協働して歩む～

志清会だより 第34号

※ 志清会は、あきる野市議会で志を同じくする9名の議員による政策グループです。

会 長

幹事長

会 計

ほりえ たけし
堀江 武史
41歳④むらの えいいち
村野 栄一
52歳②なかむら かずひろ
中村 一広
51歳①こごもり としひと
子籠 敏人
46歳③あまの まさあき
天野 正昭
62歳②なかじま ひろゆき
中嶋 博幸
52歳②くぼしま せいいち
窪島 成一
64歳①ひはら しょうご
日原 省吾
54歳①うすい けん
臼井 建
秋留 50歳①

※上段：氏名 下段：住所、年齢、当選回数

幼保無償化に伴う保護者負担の軽減に関する要望書を市長へ提出

幼児教育及び保育は、生涯にわたる人格形成において非常に重要なものです。それらが無償にするための改正法が、本年10月から施行されます。しかし、新制度の導入にあたり、保護者や子育て関係者からは、期待と併せて不安の声が寄せられています。そこで、私たちは保育所及び幼稚園関係者等からの意見聴取を踏まえ、次のことを要望書にまとめ、6月21日、市長へ提出しました。

- ① 私学助成制度に残る私立幼稚園無償化対応の中で、保育料の支払い方法をこれまでの「償還払い」方式ではなく、市から幼稚園に直接払う「現物給付」方式に変更すること。
- ② 保護者負担軽減費補助金（園児一人当たり3400円）を継続すること。
- ③ 給食の食材費に対し支援をする場合は、負担が不公平にならないように配慮すること。
- ④ 認可外施設の利用者に対する支援を検討すること。

私たちはこれからも、子どもを安心して産み、育て、働くことができるまちを目指し、子育て支援の充実に尽力してまいります。



天皇陛下御即位賀詞に関する決議について

5月1日、天皇陛下が御即位されました。多くの国民がこの慶事を祝っていることを踏まえ、国会をはじめ、都議会、多くの市区町村において、天皇陛下御即位賀詞が決議されています。

そこで、私たちも祝意を表明すべく6月議会において、同決議の提出を全会派に呼びかけました。私たちは、天皇陛下御即位賀詞の決議という性格上、全会派による共同提案が望ましいと考え、共産党などからの表現の修正依頼も受け入れ調整しましたが、全会派による共同提案は実現しませんでした。採決の結果、賛成多数（くさしぎが反対）で決議が可決されました。国会及び都議会では全会一致で可決されています。令和の時代を平和で希望に満ち溢れたものとなるよう願っての決議でしたが、あきる野市議会において、全会一致で可決できなかったことは残念です。

会派別賛否表		
	共同提案 ※1	採決 ※2
自由民主党志清会	○	○
公明党	○	○
明るい未来を創る会	○	○
日本共産党あきる野市議団	×	○
くさしぎ	×	×
※1 採決前に決議案を市議会本会議へ共同で提出すること		
※2 決議についての賛否		

天皇陛下御即位賀詞に関する決議

天皇陛下におかれましては、風薫る良き日に御即位されましたことは、誠に慶賀に堪えないところであります。
天皇皇后両陛下の益々のご清祥と、令和の時代が平和で希望に満ち溢れるものとなりますようお祈り申し上げます。
ここにあきる野市議会は、謹んで慶祝の意を表します。

令和元年6月21日

東京都あきる野市議会

武蔵引田駅北口土地区画整理事業について

6月議会では、元共産党市議らから提出された「武蔵引田駅北口土地区画整理事業の抜本の変更を求める陳情書」が審議され、反対多数で否決されました。本陳情では、事業の中止ではなく計画を抜本的に見直して事業費を縮減すべきとしています。しかし、主張内容の「道路事業」では、費用対効果の観点から疑問が残ります。また、市の負担は逆に増加する結果となります。今、地権者合意の仮換地指定が間近に控え、企業誘致も内定段階であることを踏まえると、私たちは、適切な財政運営を心掛け、確実に事業を進捗させることが重要だと思っています。

皆様からいただいたご質問にお答えします。

Q1 市施行ではなく、組合施行にすべきという声もあるが。

A1 組合施行の場合、組合員（地権者）が事業費を自ら生み出す必要があります。駅前のような不特定多数の人々が利用する公共性の高い場所の事業費を組合員（地権者）だけで捻出するとなると、財源確保のための減歩率が更に15%程度、上昇することが見込まれ、地権者の負担の増加が懸念されます。

Q2 6月議会では、「土地区画整理審議会において、市は意図的に少数の反対意見などの都合の悪い意見を出さず、隠蔽している。」などの意見があったようだが、実際はどうか。

A2 第14回土地区画整理審議会では、地権者からの意見や要望を整理して報告しました。同事業の地権者は287名であり、意見や要望の数は40件（54名）ありました。議会では、換地設計案に直接関係が薄い内容は省いたという説明でした。この件については、立場の違いから見解が分かれると思いますが、会派で内容を確認する限り、実態に問題はないと考えます。しかし、不安を助長するような伝え方によって、一部の意見が地権者の総意であると伝わってしまう危険性があることは否めません。私たちは、「換地計画に対して問題がないので、今の計画で進めていただきたい」という声なき賛同者が多い（233名）のが現場の実態であると感じています。

Q3 事業地内に進出を予定している企業の状況は？

A3 武蔵引田駅北口土地区画整理事業においては、事業計画に基づいて、企業誘致を進めています。この度、進出企業が内定しました。

○沿道ゾーン（駅前通り沿い）

進出企業は、オリックス株式会社で、スーパーマーケットを中心とする複合施設を建設し、テナント運営します。店舗用地は、事業用定期借地（20年間）により、地権者から賃借し、その敷地面積は、約3,650坪の広さです。従業員数は、200～250人が想定されています。

○産業ゾーン（地区の北西）

進出企業は、東京建物株式会社で、物流施設を整備します。事業用地は、地権者から購入し、敷地の面積は、約8,540坪となっています。従業員数は、300～400人が想定されています。

どちらの企業も、地元からの雇用を進める考えがあることから、今回の企業誘致は、雇用の面からも、地元貢献に大きな期待が持てるものです。

田村都議と乙津地区消防道路等を視察

昨年秋の台風により乙津地区の消防道路が崩壊しました。市によって仮復旧工事を行い通行できるようにはなりましたが、台風が来るたびに市が負担しなくてはならないことは問題です。今後、乙津堰の砂利浚渫^{しゅんせつ}工事をするとき大型ダンプが通っても問題ないような堅固な構造にしてもらうよう、田村都議を交え、東京都水道局や西多摩建設事務所と協議をしました。

また、乙津堰の砂利浚渫は、①上水道の取水口としての機能を維持すること、②魚道の砂利除去による鮎等の遡上促進、③下流域に砂利を流出させないため、にも重要です。昨年度、6年ぶりに浚渫工事を行いました。その後の経過状況を確認するとともに、今後とも、浚渫工事を継続するよう、東京都水道局へ強く要望しました。



トピック

6月議会では、志清会の8人が一般質問で登壇しました。一般質問の詳細は、議会HPまたは「ギカイの時間（8月1日号）」をご覧ください。